

薬剤ごとの違いがわかる

# ステロイド 使い分け

豊富な薬剤情報と症例 Contents

序

山本一彦

## 第1部 ステロイドの基礎知識

1. ステロイドを使うのはどんなときか  
大島久二, 秋谷久美子, 田中郁子 14
2. ステロイドの作用  
清野敏一, 川合眞一 17
3. ステロイドの種類と選び方  
大島久二, 秋谷久美子, 田中郁子 20
4. ステロイドの使い方  
～初期投与量, 減量・離脱, 維持量の考え方～  
大島久二, 秋谷久美子, 田中郁子 23
5. 相互作用  
大島久二, 秋谷久美子, 田中郁子 30
6. 副作用とその予防  
大島久二, 秋谷久美子, 田中郁子 33
7. 注意点  
大島久二, 秋谷久美子, 田中郁子 44

## 第2部 薬剤編

### 1. 経口剤 ..... 清野敏一, 川合眞一

総論 ..... 48

各論 ..... 57

1. フルドロコルチゾン酢酸エステル/57
2. プレドニゾロン/59
3. メチルプレドニゾロン/62
4. トリアムシノロン/64
5. デキサメタゾン/66
6. ベタメタゾン/69
7. ヒドロコルチゾン/73
8. コルチゾン酢酸エステル/75

## 2. 注射剤 .....大野能之，三森経世

総論 ..... 78

各論 ..... 83

1. ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム，ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム／83
2. ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム／85
3. デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム／87
4. トリアムシノロンアセトニド／89
5. プレドニゾンコハク酸エステルナトリウム／91
6. メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム／93

## 3. ステロイド外用剤 .....大谷道輝，古江増隆

総論 ..... 96

各論 ..... 127

1. ストロンゲスト群／127
2. ベリーストロング群／129
3. ストロング群／135
4. ミディアム群／139
5. ウィーク群／141

## 4. 吸入ステロイド .....長瀬幸恵，柚 知行，永田 真

総論 ..... 144

各論 ..... 155

1. フルチカゾンプロピオン酸エステル (FP) ／155
2. ベクロメタゾンプロピオン酸エステル (BDP) ／158
3. ブデソニド (BUD) ／160
4. シクレソニド (CIC) ／161

## 5. 鼻噴霧用薬 .....柳原良次，増山敬祐

総論 ..... 165

各論 ..... 171

1. ベクロメタゾンプロピオン酸エステル液状製剤／171
2. ベクロメタゾンプロピオン酸エステル粉末製剤／172
3. フルチカゾンプロピオン酸エステル／174
4. モメタゾンフランカルボン酸エステル水和物／176
5. フルチカゾンフランカルボン酸エステル／177

## 6. 眼軟膏・点眼液 .....関根祐子，高村悦子

総論 ..... 180

各論 ..... 190

1. ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム／190
2. ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム・フラジオマイシン硫酸塩配合／190
3. デキサメタゾンメタスルホ安息香酸エステルナトリウム／190
4. フルオロメトロン／191
5. メチルプレドニゾン・フラジオマイシン硫酸塩配合／191
6. プレドニゾン／191

## 第3部 疾患編

<b>1. 膠原病</b> .....	鈴木康夫	194
1. 全身性エリテマトーデス (SLE)		198
2. 関節リウマチ (RA)		204
3. 多発性筋炎/皮膚筋炎		208
4. 血管炎症候群		211
<b>2. 血液疾患</b> .....	西村純一, 柴山浩彦, 水木満佐央, 金倉 譲	215
1. 自己免疫性溶血性貧血 (AIHA)		215
2. 特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)		218
3. 悪性リンパ腫 (非ホジキンリンパ腫)		220
4. 多発性骨髄腫		225
5. 血球貪食症候群		228
6. 血栓性血小板減少性紫斑病		233
<b>3. 腎疾患</b> .....	野島美久	237
1. 微小変化型ネフローゼ症候群		237
2. 巣状糸球体硬化症		242
3. 膜性腎症		245
4. IgA腎症		249
5. 急速進行性糸球体腎炎 (RPGN)		252
<b>4. 呼吸器疾患</b> .....	山口正雄	257
1. 気管支喘息		257
2. 特発性間質性肺炎 (IIPs)		264
3. 膠原病随伴性間質性肺炎		268
4. 好酸球性肺炎		272
5. サルコイドーシス		276
<b>5. 脳神経疾患</b> .....	真崎勝久, 吉良潤一	279
1. 多発性硬化症 (MS)		279
2. 重症筋無力症 (MG)		283

3. 慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー (CIDP)	287
4. 急性細菌性髄膜炎	290
5. 脳腫瘍, 脳・脊髄への転移性腫瘍に対する症状緩和	293
<b>6. 甲状腺疾患</b> .....久保田 憲	296
亜急性甲状腺炎	296
<b>7. 消化管・肝胆膵</b> .....野中康一, 喜多宏人	300
1. 潰瘍性大腸炎 (UC)	300
2. クローン病	305
3. 自己免疫性肝炎 (AIH)	308
<b>8. 皮膚科疾患</b> .....中川秀己	311
1. アトピー性皮膚炎	311
2. 蕁麻疹	320
3. 虫刺症	322
4. 薬疹	323
5. 自己免疫性水疱症 (天疱瘡と類天疱瘡)	327
6. 結節性紅斑	331
<b>9. 眼科疾患</b> .....高瀬 博, 望月 學	333
1. ぶどう膜炎	333
2. 結膜炎	340
3. 特発性視神経炎	343
<b>10. 耳鼻咽喉科疾患</b> .....國井直樹, 岡本美孝	346
1. 突発性難聴・急性感音難聴	346
2. 顔面神経麻痺	351
3. アレルギー性鼻炎	355
<b>索引</b>	
医薬品索引	358
事項索引	361